

令和2年11月17日

プレスリリース

林野庁東北森林管理局
盛岡森林管理署

岩手県岩手郡岩手町内国有林における松くい虫被害について

林野庁東北森林管理局盛岡森林管理署管内の国有林において、松くい虫被害（マツ材線虫病）が確認されましたので、別紙のとおりお知らせします。

被害確認国有林所在地

岩手県岩手郡岩手町大字黒内^{くろない}字山谷1の1 山谷国有林1410林班に3小班内



【問い合わせ先】

林野庁東北森林管理局盛岡森林管理署

総括森林整備官 清水野

岩手県盛岡市北山二丁目2-40

TEL：019-663-8001

FAX：019-663-8172

林野庁

岩手県岩手郡岩手町内国有林における松くい虫被害について

【要旨】

盛岡森林管理署管内岩手県岩手郡岩手町大字黒内字山谷^{くろない}1の1山谷国有林において、アカマツ立枯木からマツノザイセンチュウが検出され、松くい虫被害（マツ材線虫病）であることが確認されました。同町内民有林においては、平成26年に初めて発見されています。

この被害木については、盛岡森林管理署が伐倒駆除処理を行うとともに、周辺地域の監視を強化していきます。

1 確認の経緯等

(1) 松くい虫被害疑い木の発見

令和2年10月1日、盛岡森林管理署職員が UAV による監視活動を行ったところ、岩手町大字黒内の一方井ダム上空から葉が赤褐色となっているアカマツを発見しました。

(2) 現地調査、材片採取及び鑑定

10月7日、地上探査により当該アカマツが立枯木であることを確認のうえ材片採取を行い、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所へ鑑定を依頼した結果、マツ材線虫病の病原体である「マツノザイセンチュウ」が検出されました。

なお、このほか同時期に岩手町内の国有林から材片採取した11検体については、マツノザイセンチュウが未検出となっています。

(3) 松くい虫被害箇所（次項、位置図参照）

今回マツノザイセンチュウが検出された国有林は、平成26年に民有林で確認された岩手町一方井8地内及び岩手町土川4地内から、直線距離で約7.2km北北西に位置しています。

2 今後の対応

(1) 被害木の処理

今回発見された松くい虫被害木は、病原体であるマツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリの羽化・脱出前の、令和3年6月中旬までに伐倒及び薬剤によるくん蒸処理を行い、被害木内のマツノザイセンチュウ及びマツノマダラカミキリを駆除する予定です。

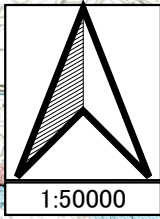
(2) 監視の強化

職員による周辺地域の地上探査及び、UAV による上空からの監視を引き続き行い状況把握に努め、得られた情報は岩手県及び岩手町並びに周辺市町と共有することにより、監視の強化を図ります。

【問い合わせ先】

林野庁東北森林管理局盛岡森林管理署
総括森林整備官 清水野
岩手県盛岡市北山二丁目 2-40
TEL：019-663-8001
FAX：019-663-8172

松くい虫被害箇所 位置図



松くい虫被害木

令和2年松くい虫被害箇所
山谷国有林1410林班に3小班

約7.2km

平成26年松くい虫被害箇所
民有林

岩手町役場

東北新幹線
いわて沼宮内駅

凡例	
●	松くい虫被害箇所

